

夢祭連 粹樂

ゆめまづら
すいらく

結成：平成20年1月8日
宮城野萩賞(平成22年)
誉賞(平成30年)

純粹に仙台すずめ踊りを楽しみたいと願う有志が集まって結成。
向上心を持って楽しく頑張るといふ思いで祭連を立ち上げました。
祭連名は、「夢を持ち 粹に楽しむすずめかな」の思いを込めて命名。



色：日本の伝統色 蘇芳色(すおういろ)。
柄：歌舞伎の市川團十郎の鬘(しばらく)を参考にして「三升(みます)」や隈取(くまどり)を取り入れました。
鯉口・股引：他の祭連では使用していない色合いで法被に合う色を検討した結果グレーに決まりました。柄は法被と同じ隈取をあしらいました。
結成時のメンバーで意見を出し合い、ほまれやさんに何度も足を運び決めました。特に蘇芳色の発色には苦労しました。



扇子は片面緑、片面赤で金色の縁取り。
最初は違う色で作りましたが、より衣装に映える色として試行錯誤の上、現在の色柄に決まりました。

コロナ禍のため活動を休止していましたが、2022年7月に2年4ヶ月ぶりに活動を再開しました。踊りお囃子ともにコロナ禍前の週1回の練習が出来るよう新たに活動を始めるところです。ホームページやInstagramなどの広報ツールを活用して、粹樂の活動を紹介しながら新たなメンバーを募集します。また、今後は活動拠点としている太白区長町地域により密着した活動を行い、地域の祭連として応援してもらえるように取り組んでいきます(地域のお祭りへの出演、小学校運動会でのすずめ踊りの演舞指導など)。結成当初の思いを軸に、これからもずっと受け継がれていく祭連となるように、そして仙台すずめ踊りの一祭連として伝承、普及拡大の一端を担えるように日々精進して行きたいと思ひます。

